

栃木県医師会学校保健部会活動報告

学校保健部会副部会長 浅井秀実

学校保健部会役員 (令和4年6月18日～現在)

部会長 稲野 秀孝 (栃木県医師会 会長)

副部会長 浅井 秀実 (同 副会長・学校保健担当)

小沼 一郎 (同 副会長・学校保健担当)

理 事 遠藤 秀樹 (宇都宮市)

木村 安志 (上都賀郡市)

櫻井 賢司 (下都賀郡市)

佐間田一則 (小山地区)

北川 英子 (佐野市)

中村 暢男 (足利市)

阿久津博美 (塩谷郡市)

齋藤 仁 (那須郡市)

上野 顕 (南那須)

鈴木 幸代 (芳賀郡市)

参 与 堀 秀行 (眼科)

金子 達 (耳鼻咽喉科)

小野 誠 (整形外科)

木内 敦夫 (産婦人科)

上村 修一 (精神・神経科)

神永 朋子 (皮膚科)

監 事 齋藤 伸夫 (下都賀郡市)

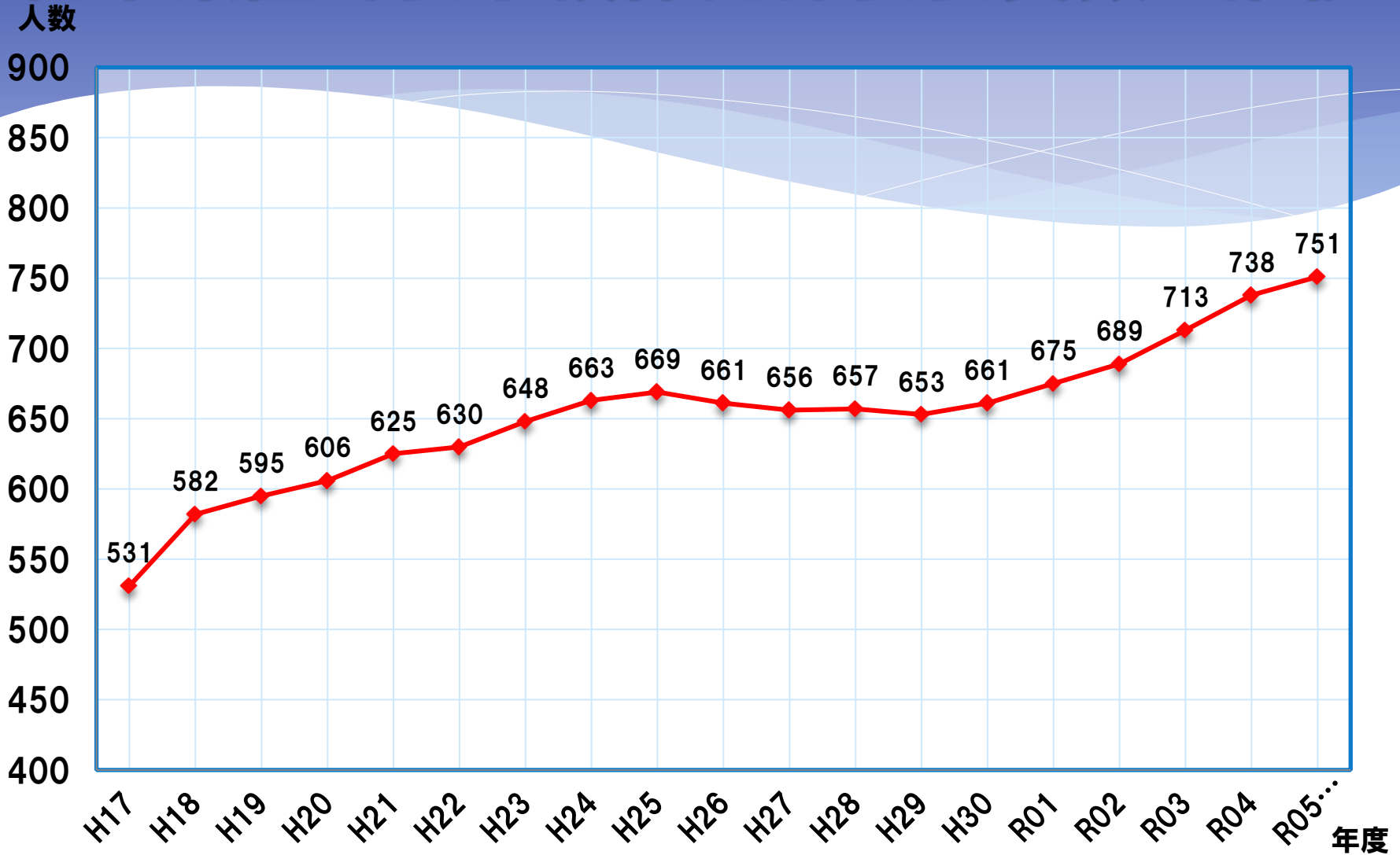
青木 公平 (足利市)

佐藤 勇人 (塩谷郡市)

会員数 751 名（令和6年2月末現在）

郡市	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05 (2月末現在)
宇都宮市	179	174	171	173	173	176	179	179	184	189	193
上都賀郡市	53	56	55	55	54	53	54	58	61	62	61
下都賀郡市	73	74	74	74	75	75	72	73	75	75	76
小山地区	72	70	71	71	68	71	74	74	77	79	81
佐野市	44	41	41	40	39	37	34	35	36	36	35
足利市	75	73	72	73	71	72	73	74	77	79	81
塩谷郡市	42	41	41	41	41	41	41	41	40	40	40
那須郡市	56	57	55	53	53	55	57	56	57	59	61
南那須	19	18	19	19	19	19	18	18	18	18	18
芳賀郡市	34	37	36	36	35	35	35	36	35	35	35
自治医大	6	5	6	7	11	14	26	33	40	52	56
獨協医大	16	15	15	15	14	13	12	12	13	13	14
合計	669	661	656	657	653	661	675	689	713	738	751

栃木県医師会学校保健部会会員数の推移



令和4年度決算(概要)

➤ 収	入		
	委託金	58,766円	(学校医研修会事業)
	その他	215,950円	
	合計	274,716円	
➤ 支	出		
	会議費	205,000円	
	総会・研修会	69,716円	
	合計	274,716円	

各種大会等の参加

【令和5年度】

① 関東甲信越静学校保健大会

令和5年8月3日（木） 於 埼玉県

② 関東甲信越静学校医協議会

令和5年8月3日（木） 於 埼玉県

③ 全国学校保健・学校医大会

令和5年10月28日（金）・29日（土） 於 兵庫県

④ 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会（WEB）

令和6年1月17日（金）

学校医研修会(WE B)

【令和5年度】

令和6年3月14日(木) 16時～17時

「児童・園児におけるアレルギー対応について」

講師：獨協医科大学 医学部 小児科学
主任教授 吉原 重美 先生

令和5年度 県公立学校における校医報酬

【上段:令和4年度 下段:令和5年度】 ※()内は内科校医以外

全 日 制	基本年額	145,800 (130,800)	
		145,800 (130,800)	
	生徒数割	×210	
		×210	
定 時 制 通 信 制	基本年額	独立校・大規模併設校	その他の併設校
		145,800 (130,800)	109,800 (98,900)
	生徒数割	145,800 (130,800)	109,800 (98,900)
		×210	×210
	生徒数割	×210	×210
		×210	×210
特別支援学校	基本年額	157,200 (141,400)	
		157,200 (141,400)	
	生徒数割	×210	
		×210	

令和5年度 学校保健部会活動目標

スローガン

「学校保健教育により積極的に取り組もう」

活動目標

(1) 学校医研修会の充実

- ・ 県医師会：年2回開催
- ・ 郡市・地区医師会：学校医委員会主催あるいは生涯教育委員会主催で年1～2回開催

(2) 学校保健委員会への積極的参加

- ・ 子どもたち・養護教諭・PTA等と現場に出向いた顔の見える対話
- ・ 健康教育の取り組み

(3) 養護教諭との連携強化

- ・ 地区医師会と地区養護部会支部との連携（個々以外に組織対組織の意見・情報交換）

(4) 乳幼児保健との連携強化

- ・ 乳幼児保健委員会との連携
- ・ 「子ども支援日本医師会宣言（2006年5月16日）」への取り組み

(5) アフターコロナ+ウィズコロナの学校保健への取り組み